

日本児童英語教育学会

(The Japan Association for the Study of Teaching English to Children)

第 1 回研究大会 兼 第 53 回中国・四国支部研究大会のご案内(第 2 次案内)

日本児童英語教育学会 会長 アレン玉井光江
同 中国・四国支部 支部長 平本 哲嗣

拝啓 立秋とは名ばかりの猛暑が続きますが、JASTEC 会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は日本児童英語教育学会中国・四国支部の発展のためにご協力いただきありがとうございます。

さて、本支部におきましては、毎年秋に児童英語教育に関する研究会を重ねておりますが、本年度は JASTEC 2024 年度第 1 回研究大会を兼ねて、来る 9 月 8 日(日)に下記要領により第 53 回中国・四国支部研究大会を開催する運びとなりました。

小学校英語教育に関わる先生方、また、児童英語教育の現場でご活躍の皆様にとりまして、本大会が有益な情報発信と情報交換の場となることを心より願っております。今大会は、オンライン実施ということで、全国よりどなたでもご参加いただけます。JASTEC 会員はもとより、小学校や児童英語教育の現場でご活躍の皆様、また小学校外国語活動・児童英語に関心をおもちの皆様、どうぞお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時: 2024 年 9 月 8 日(日)

12:40 受付開始 13:00 開会 17:00 終了予定

会場: オンライン(Zoom)

※研究大会前日 18 時に、メールにて参加用の URL 等お知らせいたします。

※Zoom の操作方法については、事前に公式の[サポートページ](#)をご確認ください。

参加費: 会員無料(今年度分の会費が未納の場合は、お早めに納入をお願いいたします。)

非会員: 一般 1000 円, 学部生 500 円

※非会員で入会希望の方は、下記申込ページより年会費をお支払いください。

本大会より、会員として参加ができます。

申込: 会員・非会員にかかわらず、事前申し込みが必要です。

[こちらのリンク](#)または[二次元バーコード](#)から申し込みフォームに進み、

必要事項を記入・送信してください。

申込期限 2024 年 9 月 7 日(土) 17:00

※キャンセルは受け付けておりませんのでご注意ください。

※領収書は、受領証やクレジット決済の証明をご利用ください。

別途必要な場合、本ファイル 3 ページ目に示す事務局までお問い合わせください。



第 1 回研究大会 兼 第 53 回中国・四国支部研究大会 プログラム

12:40ー 開場

13:00ー 開会のあいさつ

13:05ー13:45 実践報告

初等英語科でのアクティブ・ラーニングにおける教員の学習支援の実践報告 ー学生の声に耳を傾けるー

発表者： 國本和恵（岡山理科大学非常勤講師）
竹野純一郎（岡山理科大学）

オンラインを用いた主体的・対話的で深い学びとして、初等英語科において、アクティブ・ラーニングの手法のひとつである反転授業を行った。授業の改善を目的として、「反転授業学習意欲」「英語学習意欲」「外国語指導意欲」「授業準備率」「出席数」から因子分析・相関分析、「自由記述」から共起ネットワーク分析などの調査・分析を行った。調査・分析の結果から、全体を俯瞰して授業改善を検討することはできたが、このような全体像を考える分析では、少数派と思える学生の生の声に十分耳を傾けることができていない。そこで本研究では、実践報告の視点で、統計分析とは異なる視点で、学生の学習を考察することで講義を見直し、改善に繋げることを目的とする。本発表では、共起ネットワーク分析での少数派のコメントについて取り上げる。

13:50ー14:30 実践報告

授業に絵本を！絵本で心を育てる小学校外国語教育

発表者： 岡田ひとみ（高松中央高等学校）

外国語の授業で絵本を使用することは、児童の心と学びの両方を豊かにする。絵本のストーリーやキャラクターに共感することで、英語の学びがより身近で楽しいものとなり、児童の意欲を高めることができる。

まず『みんなちがって 未来へ伝える男女共同参画』Everybody's Different を使用した実践を紹介する。この絵本は自信をテーマとしており、「Be good at」という言語材料を通じて、児童が自分の得意なことに自信を持つことを学べる。異なる個性を尊重し互いに支え合う大切さを伝えることで、児童の社会性や自己肯定感を育てる。

次に『The Wonderful Things You Will Be いつかあなたが大きくなったら』を使用した実践を紹介する。この絵本は将来の夢をテーマにしており、「will」という言語材料を使って、児童が未来への希望や目標を描く手助けをする。夢を持つことの素晴らしさや可能性を伝え、児童の想像力と希望を育てることができる。

14:35-15:15 実践報告

異文化理解・自文化理解を深める小学校外国語教育における国際交流プロジェクトの開発
—外国と隣市の児童との交流を通して—

発表者：永島悠一（新潟県糸魚川市立糸魚川小学校）
阿部始子（東京学芸大学）
安生留衣（新潟県上越市立大町小学校）

本研究の目的は、交流する相手に変化を持たせることと複数の単元を統合したプロジェクト型学習の設定（国際交流学習）により、思考力・判断力を働かせ工夫して表現するという必然性をうみ、児童の動機づけ（英語学習、コミュニケーション、異文化理解・自文化理解）に変化をもたらすか明らかにすることである。

I市小学校6年生（11名）が、隣市の小学校6年生（33名）・グアテマラの中学生（3名）と①自己紹介、②地元の魅力紹介、③将来の夢紹介と学校紹介、④小学校生活の思い出紹介など様々なテーマを通して、1年間に渡り交流を行った。交流後、アンケート（5件法）・自由記述による振り返りなどを分析した結果、上記3分野全てについて児童の動機づけを高め、異文化理解・自文化との共通点や差異への気づき、相手や相手の地域・文化を尊重する気持ちや、もっと交流したい、郷土の良さを発信したいという自発的学習意欲にも繋がったことが示唆された。

15:15-15:25 休憩

15:25-16:55 講演

令和の日本型学校教育において小学校英語に求められるもの
—デジタル教科書活用の意味とHRTに期待すること—

講師：池田 勝久 氏
（文部科学省初等中等教育局 主任教科書調査官）

本講演では、まずGIGAスクール構想第2ステージの指導に伴い、これまでの成果と今後の方向性を確認する。次に「個別最適な学び」「協働的な学び」といったキーワードを用いて、「令和の日本型学校教育」においてデジタル教科書と端末がどんな意味をもつのかを解説する。また、学習者用デジタル教科書が外国語教育に優先的に無償提供されている背景に焦点を当て、今後の外国語教育のあり方について提案する。ここでは、機械翻訳や生成AIなどのテクノロジーとどのように向き合うべきか、また外国語教育における教師に求められる資質・能力についても論じる。さらに、小中連携の重要性にも触れ、小学校と中学校の教科書の特徴やその変化について考察する。最後に、令和5年度「英語教育実施状況調査」の結果を踏まえ、これからの英語教育の方向性を確認する。これらのテーマを通じて、デジタル教科書の活用とHRT（ホームルームティーチャー）に期待される役割について理解を深めていただきたい。

16:55-17:00 閉会のあいさつ

【 お問い合わせ先 】

JASTEC 中国・四国支部事務局

〒739-8521 広島県東広島市鏡山 1-7-1

広島大学外国語教育研究センター 山内優佳 研究室内

E-mail: jimukyoku@jastec-cs.com